



The Federation of Japan Amateur Orchestras Corp.

発行所:(社)日本アマチュアオーケストラ連盟
発行責任者:森下 元康

〒441 8028 豊橋市立花町46 光陽ビル3F
電話(0532)33 6885 FAX(0532)33 6875
e-mail:info@jao.or.jp http://www.jao.or.jp/



vol.44

第28回全国アマチュアオーケストラ フェスティバル沖縄国際大会 いよいよ開催まじか

大会実行委員長(沖縄交響楽団 団長) 與儀 幸英



沖響がJAOに加盟して以来、毎年各県持ち回りで開催されるフェスティバルに参加する度に、「いつの日か、JAOフェスタを海を渡った沖縄で開催したい」と心に念じて来ました。その事がいよいよ現実になります。どの大会でも運営がスムーズに進行なされているので「これなら沖縄でもなんとかなるのではないか」と考えておりました。

なんと身のほど知らずのことでしょうか。最近はその重大さを、思い知らされている毎日です。

実行委員会を開催する度に、各班の進捗状況を確認すると、「あの班は順調に進んでいるが、この班はなかなかうまくいっていないので急いで取り組む様に」等と、お互いに叱咤激励しながら、日々準備に追われております。

さて、九州・沖縄サミットの1週間後に第28回全国アマチュアオーケストラフェスティバル沖縄国際大会が平成12年7月28日、29日、30日、宜野湾市のコンベンションセンターで開催されます。

7月28日の開会式では参加者を歓迎し、沖縄県青少年合同オーケストラにより、佐渡山安信氏の指揮で与儀亨作曲「21世紀の森」と富原守哉作曲「平和への憧憬」が演奏されます。

午後からは、(I)JAOユースオーケストラでは、井崎正浩氏の指揮により、立花麻理絵さん(豊橋コース)をコンサートマスターにお招きして、リムスキー・コルサコフ作曲「スペイン奇想曲」。(II)台北県大豊國小第一屆管弦楽団によるA・ドボルザーク作曲「新世界より第四楽章」他3曲。(III)JAOフェスティバルオーケストラAでは、飯守泰次郎氏の指揮により、三浦章宏氏をコンサートマスターにお招きして、R・シュトラウス作曲交響詩「ティル・オイレンシュピーゲルの愉快ないたずら」。(IV)JAOフェスティバルオーケストラBでは、矢崎彦太郎氏の指揮により、植木三郎氏をコンサートマスターにお招きして、C・ドビュッシー作曲/交響詩「海」等それぞれの練習がスタートし、最終日の30日には成果を発表する演奏会が持たれます。

この沖縄大会では、連盟本部のご理解とご協力をいただき、韓国、香港、シンガポール、インドネシア、そして台湾等アジアの仲間達を招待し、言葉や文化・習慣を越えた交流がまさに、世界の共通語である音楽を通して、JAOユースオーケストラで持たれます。

どうぞ、沖縄大会にご参加なされる方々は、積極的にアジアの仲間達と交流をしていただきたいと思います。

九州・沖縄サミットの1週間後の開催になります。どうぞ一人でも多くの方が参加されます事を念じ、青い空、白い雲、そしてコバルトブルーの海が皆様方をお待ちしております。

今年の夏は沖縄から.....

第4回BDLO研修旅行実施

ドイツアマチュアオーケストラ連盟(BDLO)から 横田副理事長に功労賞

日独交流の功績に対して



去る6月9日から12日まで、ドイツ・ヴァイカスハイムにてドイツアマチュアオーケストラ連盟(=BDLO)との交流キャンプが行われた。4回目となる今回は横田行雄副理事長を団長とし全国から総勢16名(スタッフも含む)の参加者となった。課題曲はブラームスの交響曲第1番で、最後の日には宮内省の大広間で発表会が行われ、すばらしいハーモニーを披露した。この交流事業参加者の感想などは次号に特集予定。

なお、この発表会に先立ち、横田行雄副理事長に対し、BDLOのコンラディ理事長より、「BDLO功労賞(Anerkennung besonderer Verdienste um das Liebhabermusizieren)」が贈呈された。これは両連盟が友好提携条約を結んで5周年になるのを記念し、日独交流に特に功績の合った横田氏に贈られたもので、この賞がドイツ人以外に贈られたのは今回が初めてである。

第11回通常理事会・総会を開催 平成11年度決算案を承認

第11回通常理事会、ならびに通常総会が5月28日(日)午後、東京上野の「精養軒」で開催された。理事会は13名の理事(他の7名の理事は議長に委任状を提出)と2名の監事出席のもと、午後1時より開かれた。総会に提案する事項と新規会員の加入承認などの議事が討議され、いずれも原案通り可決された。続いて午後3時より通常総会が、44団体代表者の出席(他91団体が議長に委任状提出)を得て開催された。神野信郎会長の挨拶に続いて議事に入り、平成11年度事業報告並びに決算案について説明、討議がなされ、原案通り承認された(別掲)。その他新規加入団体、全国フェスティバル沖縄大会、マスターズキャンプ、などの報告があり、午後4時30分に閉会した。



総会で挨拶する神野会長



理事会風景

平成11年度 収支決算書

自 平成11年4月1日
至 平成12年3月31日
(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 収入の部			
1 基本財産運用収入			
基本財産利息収入	575,000	575,201	201
2 入会金・会費収入			
入会金収入	300,000	300,000	0
正会員会費収入	7,900,000	7,900,000	0
賛助会員会費収入	3,600,000	3,520,000	80,000
3 事業収入			
全国大会収入	3,000,000	2,989,000	11,000
技術研修会収入	202,000	203,000	1,000
青少年キャンプ事業収入	3,370,000	3,555,000	185,000
機関誌発行事業収入	1,500,000	1,500,000	0
4 補助金収入			
地方公共団体補助金収入	2,000,000	2,000,000	0
民間助成金収入	36,000,000	35,784,000	216,000
5 寄付金収入			
寄付金収入	10,360,000	10,366,024	6,024
6 雑収入			
受取利息	10,000	6,230	3,770
雑収入	300,000	426,755	126,755
当期収入合計(A)	69,117,000	69,125,210	8,210
前期繰越収支差額	3,965,160	3,965,160	0
	73,082,160	73,090,370	8,210

科 目	予算額	決算額	差 異
II 支出の部			
1 事業費	(48,790,000)	(48,095,700)	(694,300)
臨時雇賃金	855,000	805,000	50,000
福利厚生費	4,761,750	4,733,235	28,515
会議費	3,223,000	3,337,008	114,008
旅費交通費	12,968,000	12,472,425	495,575
通信運搬費	2,806,000	2,813,601	7,601
消耗品費	2,185,000	2,067,383	117,617
印刷製本費	5,932,500	5,662,567	269,933
賃借料	2,117,450	2,093,011	24,439
損害保険料	120,000	113,030	6,970
諸謝金	10,827,210	10,813,678	13,532
広報費	1,230,000	1,212,630	17,370
雑費	1,764,090	1,972,132	208,042
2 管理費	(15,300,000)	(15,237,671)	(62,329)
役員報酬	4,800,000	4,800,000	0
給与手当	1,000,000	1,000,000	0
諸謝金・臨時雇賃金	365,000	365,000	0
福利厚生費	30,000	28,350	1,650
会議費	1,150,000	1,082,702	67,298
旅費交通費	2,350,000	2,279,052	70,948
通信運搬費	900,000	1,000,922	100,922
消耗品費	1,250,000	1,248,404	1,596
渉外費	90,000	70,854	19,146
印刷製本費	140,000	135,450	4,550
光熱水料費	220,000	227,999	7,999
賃借料	2,690,000	2,685,408	4,592
租税公課	25,000	20,000	5,000
雑費	290,000	293,530	3,530
3 特定預金支出	(300,000)	(300,000)	(0)
基本財産積立金	300,000	300,000	0
4 予備費	(150,000)	(-)	(150,000)
当期支出合計(C)	64,540,000	63,633,371	906,629
当期収支差額(A)-(C)	4,577,000	5,491,839	914,839
次期繰越収支差額(B)-(C)	8,542,160	9,456,999	914,839

新事業スタート!

人生の達人、音楽の達人たち 中高年のための
日本マスターズオーケストラキャンプ
オーケストラ人生 全楽章運動

参加者資格と定員

- 1) JAO会員またはその推薦のある者で、原則として40歳以上。
- 2) もとプロ奏者であってもこの事業の趣旨に賛同する者。
- 3) 世界アマチュアオーケストラ連盟(WFAO)の推薦を受けた海外からの参加者。
- 4) 定員は80名とし、編成の都合でお断りする場合もある。

活動内容

- 1) 室内楽アンサンブルコース
参加者の自己申告と希望によってアンサンブルグループを編成。弦楽、管楽アンサンブルをはじめ多様な組み合わせで参加者全員が室内楽経験ができるように配慮。講師がアンサンブルに加わり指導を受けながら練習を楽しむ。
- 2) オーケストラコース
基本をもう一度見直すためのフルオーケストラによる練習。
- 3) 講師や懇親行事

講師による音楽講座等のレクチャー、趣味の交流
(JAO会長杯ゴルフコンペ)

開催日程

期日:平成12年10月20日(金)~22日(日)
2泊3日(1泊2日も可)

研修曲目

ブラームス:交響曲第2番
ヴェルディ:歌劇『運命の力』序曲 他

講 師

Vn 金子 宏子(元バリコンセルパトワールオーケ)
Va 藤原 義章(元都響) Vc 山崎 聡(新日フィル)
Cb 佐々木正治(元群響) Ob 吉水 洋(元読響)
Hr 山岸 博(読響)

会 場

かずさアカデミアホール(練習会場)
オークラアカデミアパークホテル(宿泊)
千葉県木更津市矢那1639(TEL:0438 20 5555)

参 加 費

5,000円(楽譜代、連絡費、雑費等)
宿泊・食事はすべて自己負担となります。
宿泊費:1泊9,300円(朝食・税・サ込み/ツイン)
シングル希望者+3,800円
昼食:1回1,000円(弁当) 夕食:自由

近日中に要項を各団に発送いたします。



【誕生と方針】

フィルハーモニックアンサンブル管弦楽団（以下PEO）は、1976年立教大学交響楽団OBにより、沼津合唱団の依頼に応えてその祝祭オーケストラとして結成されました。1979年に初の自主演奏会を開くにあたり広く門戸をひろげ、ふつうの自主運営オーケストラの仲間入りをしました。

「ホールも楽器の一部」の基本理念から演奏会場も音響の良いホールを求め、本拠地東京ではサントリー・東京オペラシティなどでの主催演奏会を年2回、その合間に小演奏会、依頼演奏会なども受けて様々な音楽との出会いを享受しています。

指揮者・共演者にも音楽的な刺激を受けたい一心で、可能な限り第一線で活躍中の方をお願いしています。

【指導者】

常任指揮者・副指揮者をおくことはなく、日頃の練習はN響への現在活躍中の演奏家に指導を仰ぎ、音楽のup-to-date化に努めています。

【海外演奏旅行】

国外の名ホールで「音を出す」企画にも積極的で、これまでに1992年N.Y.カーネギーホール、1998年ウィーン楽友協会大ホールでの公演を実現させました。このあたりの苦労話は、「音楽の友」7月号の特集に出ていますので、興味のある方はご覧ください。本年11月には、北京国際音楽祭参加を予定しています。

【CDの製作】

演奏会のライブCDとして、PEOマーラーシリーズ、「E・オプラスツォワとともに」などがありますが、本格的レコーディングセッションも経験しました。元ベルリン・フィルのソロトランペット奏者、K.グロート教授と一緒に作ったオリジナルCD「トランペット協奏曲集」がそれです。現在、銀座山野楽器などで売り出しています。



ニューヨーク演奏会

【今後の予定】

PEO北京演奏会

11月5日（日）世紀劇院 北京国際音楽祭参加

指揮：大友直人 独奏：安倍圭子

マーラー / 交響曲第1番「巨人」ほか

PEO第34回演奏会（帰国記念演奏会）

11月19日（日）文京シビックホール

川崎市民オペラ『魔笛』公演

12月15日（金）多摩市民会館

指揮：秋山和慶

PEO第35回演奏会

2001年6月10日（日）東京オペラシティ

指揮：小松一彦

PEO第36回演奏会

2001年11月24日（土）東京オペラシティ

指揮：十束尚宏

【問い合わせ先とホームページ】

PEO事務局

TEL: 03-3943-2707 FAX: 03-5395-1265

Homepage: <http://www.kt.rim.or.jp/peo/>

日本全国アマオケ街道
私の町
私のオケ
シリーズ 第五回

関西シティフィルハーモニー交響楽団

Kansai City Philharmonic Orchestra

プロフィール

1974年に関西OB交響楽団の名称で結成。1994年9月、創団20周年を機に団名を現在の名称に改め、大阪を拠点に年間2回の定期演奏会他を意欲的に開催しています。

関西シティフィルとは、こんなところ

10代から70代まで総勢90余人のメンバーで、毎週土曜日の練習に、演奏会本番に、そして打ち上げや飲み会にカー杯取り組んでいます。

体制に関して特筆すべきことは、1998年10月からクロアチア共和国出身のズラタン・スルジッチ先生に常任指揮者をお願いしていることでしょう。練習はもちろん、イン・イングリッシュ！国際化に自信(?)をつけた今年は、オランダのオーケストラとのジョイントコンサートを実現しました。その他、オペラ等の新しいレパートリーにも積極的に取り組んでいます。



最近の演奏活動

第30回定期演奏会

1999年9月5日 ザ・シンフォニーホール

指揮：ズラタン・スルジッチ

ドーラ・ベヤチェヴィッチ：フルオーケストラのための

交響曲嬰へ短調（本邦初演）

ドミトリ・ショスタコーヴィチ：交響曲第5番

トヨタコミュニティコンサート in 大阪

2000年2月19日 ザ・シンフォニーホール

指揮：清水史広 出演：悦田比呂子（トスカ）他

ブッチーニ：オペラ「トスカ」

日蘭交流400周年記念アマチュア音楽家ジョイントコンサート
～オランダのアマチュアオーケストラ「ムジカ」と～

2000年5月28日 池田市民文化会館アゼリアホール

指揮：谷野里香、ズラタン・スルジッチ 他

チャイコフスキー：交響曲第5番 他

関西シティフィルハーモニー交響楽団

〒583-0865 大阪府羽曳野市羽曳が丘西1-2-14 松田斉方

TEL: 0729-58-4585 FAX: 0729-58-4589

ホームページ:

<http://orchestra.musicinfo.co.jp/kcpo/index.html>

[当楽団のホームページは「クラシック音楽情報センター」より、サーバの無償使用の協力を得ています（<http://www.musicinfo.com>）]

第16回トヨタ青少年オーケストラキャンプ 日本青少年交響楽団特別演奏会

～ 4日間の研修から演奏会まで～ 参加者の研修記録から

【第1日目 3月24日】開会式・総合練習

遅れてきたので、食事をしている時に皆が「運命の力」を練習しているのが思っていたより上手く聞こえてきて嬉しくなりました。普段だと管楽器は少ないし、特に金管はほとんどいないので、これだけ人数がいると迫力があっておもしろいです。「惑星」とかはやはり管楽器が中心となる所もあるので弦はややくしこくも、おもしろくもあり、やはり大人数ならではの体験だと思いました。私は最近になってようやく弾く時に視覚的にも「弾いているぞ」というのがどんな風なのか、つまりは息の使い方とか、少しずつ分かってきたような気がします。TYOCにくると息の使い方が少しずつ分かるような気がします。今回のキャンプでも周りの人や先生から色々な事を学んでいきたいと思えます。

(Vln.I 篠田さや香 岐響 Jr)



【第2日目 3月25日】練習・企画

今日はみっちり練習でした。セクション練習では弦のバランスをお互いの音を聞きあいながら考えることが出来ました。パート練習では森田先生のギャグと共にセクションで注意を受けたところを詳しく教わりました。先生方は本当にすごくすごく上手で感動しました。またそんな先生方に教えていただきとてもうれしいです。弓の使い方を今日はよく学び今までの使い方を正せるようになりました。企画では、先生の面白い失敗談を聞くことが出来ました。栗田先生のオペラの話聞いて新しい「運命の力」のイメージができました。しっかり感情を込めて弾かなくてはと思います。明日が最後の練習なので、気を引き締めて頑張ります。

(Vln.II 指宿明星 宮崎 Jr)



あこがれの講師の先生方と取り組んだ『鳥』の練習風景から



われら森下音楽監督と一緒に。



【第3日目 3月26日】練習・企画

栗田先生が「やっているつもりはダメ」と仰っていました。私もそうだと思います。でもなかなかやっているつもりが抜けなくて、それがダメなのだと思うと途中で止まってしまった。散々なコンサート前日でした。特に惑星の「土星」がスローテンポだけど、タイミングが、全然上手いなくて、皆が入ってほんの少し遅れてから私も...ということが多かったので、セクション・パート練習を利用して3/4くらいは出来るようになった。

企画では各地の名産品を知ったり食べたりでき、それまで知らなかった人とも交流ができたし、勉強にもなりました。そういうことも含めて、交流の場は大事だと思いました。自分とは違うところに住んでいる人と友達になれたし、これからの生活も変化してくると思うのでやっぱりいいなあと思った。



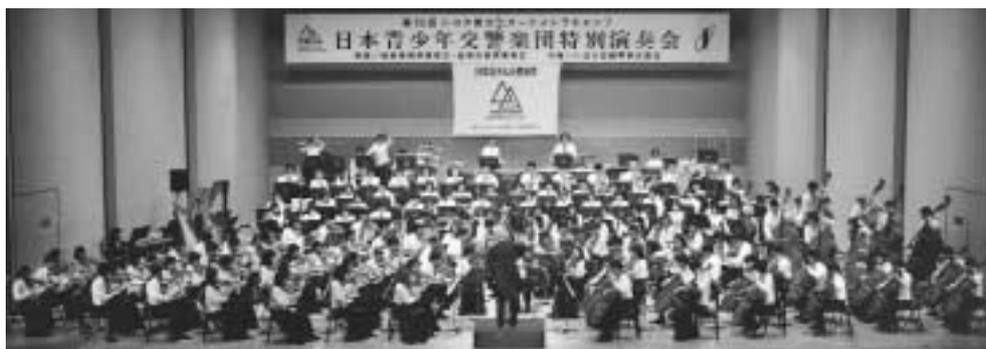
明日はいよいよ本番です。この3日間、1日中練習をしてきました。学んだこと、辛かったこと、沢山あったけど、明日は自分なりに悔いの残らない、お客さんにも「来てよかった」と思ってもらえるような曲を作りたいです。

(V.C. 所花名 浜松)

いろんな名産品があるんだ...



とうとう今日が本番。練習の成果が発揮できるかドキドキ...



【第4日目 3月27日】ゲネプロ・演奏会

今日は本番でした。本番前はとても緊張していました。でもステージの上に立ってスポットライトを浴びると、その緊張もなくなってリラックスして演奏することが出来ました。暖かいお客さんの拍手や木星を終えた時の音の余韻が今でも耳に残っています。

初めて惑星を合わせた時は、どこをやっているのか、楽譜さえ追えなかったけれども、こうやって150人という大勢の仲間と共に素晴らしい演奏会をできたことを良い思い出として、ずっと心に残しておきたいです。このキャンプでは沢山の友達ができました。一緒になって励ましあったり、愚痴を言い合いました。みんなの支えがあって、4日間を過ごすことが出来ました。みんな、ありがとう。

(Ob. 桐山依子 岐響 Jr)

今日はいよいよ演奏会でした。私を含む約15名は先発隊として朝早く自然の家を後にしました。先発隊みんなが運営委員だったという訳ではなかったのですが、皆椅子のセッティングや演奏会の進行の詳細の最終打ち合わせなどで、頑張られていたようです。お昼のお弁当は一生涯懸命働いたせいとか、とても美味しかったです。



今回の指揮者 栗田先生

お昼のお弁当は一生涯懸命働いたせいとか、とても美味しかったです。

ゲネプロでは私達パーカッションは納得のいく演奏が出来たのですが、いざ本番となるとなぜか緊張してしまったのかミスをちょっとしてしまった。でも気持ちよくプレイでき心残りはありません。

私にとって初めての演奏会だったのですが、とても良い経験をさせて頂きました。是非来年も再来年も参加して様々なことを学びたいです。有難うございました。そしてお世話になりました。

(Per. 吉田佳奈 宮崎 Jr)

今日はゲネプロの時から音がよくなって調子が良かった。そのせいもあって、本番はほとんど緊張せず、あせることもなく吹くことができた。

Soloもしっかり落ち着いて吹けたし、何よりお客さんから「ブラボー」という声が飛んできたことがとても嬉しかった。最終日にも沢山のひとと話ができた他の地域のことも教えてもらった。演奏会も無事に終わり、本当にホッとしています。一日も早くCDが聞きたいです。

今年のキャンプは初めてづくしだった去年とは違い沢山のひとと話をしたり気持ちに余裕をもって4日間を過ごすことが出来た。

今回の研修で曲は、皆で作るもの、Soloであっても、皆と一緒に演奏しているんだ、ということに気がついた。

これからもそのことは絶対忘れないでいたい。

(Fg. 藤田真澄 浜松)

大成功 ミレニアムコンサートを終えて

参加者みんなの思い

演奏会、次いでお別れパーティーも終わり部屋へ戻った私は、先程までの興奮が冷めやらぬまま最終日の研修記録を書き終える。一気に体中の緊張が解れ、やがて冷静になる。この時に常に心掛けていることがひとつある。“ああ、終わったなァ”となる前にこのキャンプ若しくは演奏会の反省と“地元へ持ち帰る”課題を考える事だ。実際にはなかなか難しい問題で、一晩では自分への課題は決まらない。ただ再度、新しいスタートを切っているに間違いはないので、と考えている。

みなさんはどう考えますか？ 何をしますか？ 是非、来年のキャンプで話し合おうね！

(Hrn. 藤田真由美 豊響)

4日間の練習の中でどのようにして自信を付けてステージに望むかと考えていました。実際は不安材料が山積みそのまま本番の日をむかえてしまいました。本番前は今までに経験したことのない程の緊張で夢の中にいる様でしたが、演奏が始まると自分でも驚くくらい集中していました。キャンプ中や本番前までは、もう二度とこんな大変なことはやりたくない!! と思っていましたが、今はこんな私にチャンスを与え、最後までやり通させて下さった先生方に感謝の気持ちで一杯です。そして何よりも沢山の“仲間”の支えと励ましがあつたから頑張れたのだと思います。ありがとうございました。

(Ob. 竹口 舞 藤沢 Jr)

今回初めて演奏会に出演しましたが、「運命の力」でトップで弾く機会を頂きました。トップで弾くことはほとんどないので、練習でも本番でもとても緊張しましたが、貴重な経験ができ、嬉しく思っています。トップで弾いて、皆で呼吸を合わせることの大切さと難しさを痛感すると同時に、自分の演奏に対する責任を感じ、音楽にのぞむ気持ちが変わったように思います。この気持ちを忘れずに、またこれからも音楽を楽しんでいきたいです。

(V.C. 浜砂なぎさ 宮崎 Jr)

今回のキャンプで学んだ事は数え切れない程、沢山ありました。中でも一番音楽の楽しさをオーケストラのみんなから教えられたと思います。みんな演奏会の本番でとっても良い顔をしていました。音楽的には自分自身の課題は沢山残りましたが、本番はいい結果だったと思います。でもこれで満足してはいけない、もっともっと良い演奏会が出来るようにこれからの1年、宮崎に向けて頑張りましょう。

(V1a. 小宮山由里 岐響 Jr)

僕は今日初めてトヨタの合宿に参加して、もうちょっと遅いかなと思っていただけ、僕の所属している長崎のオーケストラで練習しているテンポより早くてびっくりしました。練習の時はもう少し遅いテンポだったのでまあまあ出来ていたけど、この合宿でもっと上手くなれば良いなと思いました。

僕の今日の課題は、みんなのテンポについていくことでした。だけど、まだ練習したりなくてついて行けませんでした。今日は一日の途中からの練習だったけど、こんなに練習になったのでとても良かったです。今日はとても疲れ

ましたが、明日も頑張ってテンポについていけるようになります。

(V1n.I 小柳俊彰 長崎ジュネス)

皆さんへのメッセージ

講師の先生方から

“音楽が飯より好き”という皆さん、キャンプ・演奏会と大変にご苦労様でした。講師として10回以上のお付き合いになりますが、ここ数年のレベル向上は目をみはるものがあります。各自の技術のばらつきは多少ありますが、短期間の練習日で諸君の集中力が素晴らしく本番は予想以上の出来ではなかったでしょうか…。

音楽に携わる我々プロもアマチュアも野球選手がキャンプで(打つ・守る・走る)徹底的に鍛える様に音楽世界も全く同じで(リズム・ハーモニー・音程)を繰り返し訓練しなければなりません。その立脚された上に与えられた音符を如何に蘇生させるかです。

皆さんの潜在的才能は練習すればするほど楽器を持つ時間が長ければ長いほど音楽が面白く、技術が向上することは間違いありません。

来年のキャンプでお会いする時、さらなる発展と飛躍を期待してやみません。

(Trb. 春山和雄)

皆さんお疲れ様でした。一つの音楽を奏でようとしている皆さんの姿を、今回は客席から楽しく拝聴することが出来ました。

私は子供の時、“合奏をしたい”という気持ちは強かったのですが、ジュニアオーケストラがあることを知らず、小学校ではリコーダー部・コーラス部・鼓笛隊に入り、中学校では吹奏楽部でクラリネット、クラシックギター…といろんな経験をしました。そして音楽高校に入り、初めて“オーケストラ”で演奏をしました。「惑星」他、いろいろな曲に取り組めた皆さんは、本当に幸せだと思います。どうぞこれからも経験を生かして、またすてきな音楽、演奏を聞き、絵画、自然に触れ、豊かな心を育ててほしいと期待しています。頑張ってください。

(V1n. 中村弓子)

まずは、キャンプを大成功のうちに終わらせて下さった、関係者、お手伝いの方々から『ありがとうございました!』という気持ちでいっぱいです。そして何より「目頭を何度も熱くさせてくれた!」皆さんの演奏にブラボー!!!!

一つだけ「人間はカンジョウの動物」(大爆笑でしたね)休みの時も自分が演奏をしている様に体を動かしながら、カンジョウする癖をつけましょう。休みの後も自然と曲の流れに入っていける様になり、次に出すべき音量・音色など見えて来ます。まだまだ多くの人は休でオーラが発散できていませんね。

『休みも音楽に!』

宮崎までの一つの「課題」にしてください。

(V.C. 三戸正秀)

『感動をありがとう』

第16回TYOC事務局
青少年オーケストラ委員会代表 戸本 保子



2000年3月24日、全国から岐阜市少年自然の家に集まってきた参加者の青少年たちに私は「このキャンプ・第16回TYOCと27日のコンサートで皆さんのキラキラした輝く目を見るために、出来るだけの準備をしてこの日をお待ちしていた」と挨拶をしました。

私の関わっている岐響ジュニアオーケストラは、運営のための組織（団長・事務局長・会計父母会など）を持っていません。岐阜県交響楽団の団員が指導にあたっていますが、運営の責任者は代表である私一人なのです。160名という大勢のお世話ができるかどうか、本当に不安でしたが、JAO本部や、青少年委員会の先生方、岐阜県交響楽団の事務局に助けて頂いて開催地としての準備を「やることはやった」と

思ったのです。...が、しかし、あちこちに手落ちがありました。何度「しまった！」と思ったことでしょうか。その度に私を支えてくれたのは講師の先生の熱意と、参加者の皆さんの真剣な姿勢・自分たちの力でキャンプを運営しようと毎晩、練習後に話し合いをして頑張っている運営委員の姿でした。どの目もキラキラと輝き、眩しいほどでした。

160名の青少年が「オーケストラの演奏」という目的にむかって、心をひとつにしている姿は、いつ見ても気分よく、携わっていることの幸せをかみしめる機会でもあります。

私は過去に14回、キャンプに参加してきましたが、今回の感動（コンサートも含めて）は、特別でした。「参加」の仕方が今までとは違っていたからです。キャンプの運営に実行事務局として関わることができ、青少年のキャンプへの姿勢を、運営委員の活動を通して知ることができて本当によかったと思います。

あれからもう数ヶ月がたちますが、どの日をも思い出すことができます。どの日も、参加者のキラキラ輝く目とともに、感動がよみがえります。

また経験したい感動です。

第17回TYOC 宮崎で開催します

主催 / 社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟
共催 / トヨタ自動車株式会社
主管 / JAO青少年オーケストラ委員会
開催日程 / 2001年3月28日(水)～31日(土)
会場 / 練習：宮崎県立芸術劇場
 (コンサートホール及び練習室)
 宿泊：ホテル・オーシャン45
 (シーガイア コテージ ヒムカ)
曲目 / シェヘラザード 他

『宮崎からのメッセージ』

宮崎ジュニアオーケストラ事務局長 森山 靖之

第17回TYOCは“太陽と緑の国”宮崎で開催します。古くから神話や伝説で知られる宮崎(日向ヒムカの国)ですが、現在は毎年アイザック・スターンがやってくる「宮

崎国際室内楽音楽祭」や「九州沖縄サミット」の外相会場の地として全国に知られています。この度TYOCのキャンプ地として、第17回・18回の2年連続で皆様のお世話を致します。使用する施設も、「音楽祭」のメイン会場である「宮崎県立芸術劇場」で練習致します。宿泊施設は「サミット」会場に隣接するコテージ・ヒムガを使用します。

宮崎県立芸術劇場



【編集後記】

第16回のTYOCの編集後記を書き終えることで私のTYOCの歴史に幕を閉じることとなります。思い返せば8年前初めて参加してから随分年月が過ぎてしまったなぁと実感するばかりです。運営委員会も合計8回経験しました。当時高校に入ったばかりの私でしたが、大学生の周りの人が本当に大人にみえ、ドキドキしながら参加しました。そんな私が最初に受け持った仕事は、海外参加者にコードレスイヤホンを渡すことでした。練習中にジュースを飲むアメリカ人、シャワーを浴びたいというスペインの女の子に当惑したりもしましたが、言葉も分かり合えない友達と音楽を共有できることのすばらしさ・音楽の楽しさに感動しました。

このような機会を与えてくれた、このキャンプに関わるすべての人に感謝の気持ちで一杯です。現在はトヨタのOL

となりましたが、広報部の方にも「もうジュニアではないでしょう」と言われてしまい、やはり今回が最後となってしまいました。未来の開催地からなんて原稿を書いていると、私もまた参加したいという気持ちで一杯になってしまいます。

今回のキャンプでは委員長の太田君を始め土壇場で決まった運営委員会で反省点も沢山あるけど本当に皆で知恵を出し合って企画できたと思います。お母さん、戸本先生に本当に支えられながら皆、頑張れたよね。私自身、最も思い出深いキャンプになりました。

一回一回のすべてのキャンプが土台となり未来につながっているのだと本当に思います。沢山沢山の人のこれからこのキャンプを受け継いでいき貴重な経験をできるチャンスを広げて各地のオーケストラ活動をどんどん盛り上げて音楽を楽しめると良いですね！本当にありがとうございました。

委員長メッセージ

WFAO委員長 森下 元康



今世紀の最後のフェスティバルを日本の沖縄県で開催することに深い感慨を覚えます。動乱や戦争の不幸な記憶を次の世紀に教訓として生かすことができればと祈ります。

今回のフェスティバルはWFAOとして「アジアの仲間たち」というテーマで、多くのアジアの若者が集います。クラシック音楽はこれからという国の若者が将来は自国の素晴らしいリーダーに成長していくにちがいありません。来年の国際フェスティバルについても基本的な計画が進んでいます。

今年の11月には、ベネズエラのカラカスにおいてアントニオ・アブレウ氏の努力によりWFAOの会議が開かれます。そしてラテンアメリカの指導者や青少年との出会いが期待されます。

皆さんと共に音楽で地球を包み、暖かい友情に満ちた新世紀を迎えましょう。

TOPICS

松浦晃一郎ユネスコ事務局長WFAO顧問就任へ

さる5月2日、森下元康WFAO委員長はパリのユネスコを訪問。松浦晃一郎事務局長にJAO並びにWFAOの現状と今後の方針を説明。松浦晃一郎氏の顧問就任とユネスコのWFAOへの協力を要請し快諾された。これによってWFAOの総会は将来パリで開催されることが可能になった。

第5回ヨーロッパアマチュアオーケストラ連盟リヨン大会紹介

森下元康WFAO委員長はフランスアマチュアオーケストラ連盟(AFOA)委員長のラテルツァ氏と会見。氏は森下元康委員長にリヨンからパリに面会にきてくれた。

今年の6月15日から18日まで5カ国(スイス、オラン

ダ、ノルウエー、ドイツ、フランス)12のオーケストラ500名が参加する。第5回大会を主催しているAFOAはリヨンの3つのオーケストラが発起人となって1986年に設立された。

世界の各地域のこのようなフェスティバル情報をWFAOに寄せてほしい。

国際フェスティバル2001イン名古屋

2001新世紀フェスティバルは、WFAO結成以来の大規模なものになる予定。期間は2001年8月2日~5日まで。日本の愛知県名古屋市で開催される。すでに青少年オーケストラのゲストとしてイギリスのパーミンガム市スクールオーケストラの来日が内定している。WFAOの各委員は各国からの参加者を募ってほしい。招待条件は検討中。

事務局通信

機関紙「JAO」第44号をお届けします。今回から体裁を変更し、A4の横組みにしました。これは横書き表記のほうが記事の内容にふさわしいのではないかと読みやすさを考慮したことによります。今後も体裁ばかりでなく記事内容についても抜本的な改善を計るつもりです。ご意見をお聞かせください。

3月末に「第16回TYOC岐阜大会」が感動的なコンサートで幕を閉じ、新年度となりました。「第11回通常総会」や「第4回BDLO研修旅行」が実施され、「第28回フェスティバル沖縄大会」が目前に迫りました。この間、各会員オーケストラでは春の演奏会が毎週のように行われています。今後のスケジュールとして、10月に開催される「マスターズオーケストラキャンプ」の募集要項をお送りします。また8月中旬には恒例の「2001年度TCC」の申込要項も発送いたします。JAOのメールボックスには全国はもとより、世界からたくさんの電子メールが届いております。ホームページも会員にとって、より便利な充実した内容にしなければなりません。事務局の非力を感じる毎日です。

沖縄に遅れること1ヶ月、当地ももうすぐ梅雨明けです。今年は暑い夏とか。「暑に負けてみな字忘れて仮名書きに」(星野立子)

Drive Your Dreams. 人、社会、地球の新しい未来へ。 TOYOTA

もつと、たくさんさんの感動を応援したい。
これもトヨタの願いです。

トヨタは、全国で19年800回を数えるトヨタコミュニティコンサートなどアマチュア音楽活動をはじめ、美術、演劇など幅広い分野で地域に根ざした文化活動を応援しています。みんなが、もつとワクワク、ドキドキするために、トヨタは、いっしょに歩んでいきます。



ワクワクワクワク、
ドキドキドキ。

●トヨタのメセナ(芸術文化活動)の情報はインターネットでより詳しくご覧いただけます <http://www.toyota.co.jp/mecenat/>